

「施策」総括票

| | | | |
|----------|--|-----------|------|
| 施策展開 | 2-(5)-イ | 戦後処理問題の解決 | |
| 施策 | ③沖縄戦没者の遺骨収集 | | 135頁 |
| 対応する主な課題 | ○沖縄戦没者の遺骨収集については、毎年約100柱が収骨されているが、遺族や戦争体験者等の高齢化により情報収集が難しくなっていることから、遺骨情報の一元化やボランティア団体への支援など、組織的・計画的な取組による遺骨収集の加速化が求められている。 | | |
| 関係部等 | 福祉保健部 | | |

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

| 平成24年度 | | | | |
|--------|------------------------|--------|------|--|
| | 主な取組 | 決算見込額 | 推進状況 | 活動概要 |
| 1 | 遺骨収集情報センターの活用 | 15,589 | 順調 | ○糸満市において戦没者未収骨壕等調査を実施し、同市にある240の壕、ガマの内、4箇所が未収骨であることが判明した。(1) |
| 2 | 民間ボランティア団体等の活動支援 | | 順調 | ○遺骨収集実績の9割を占める民間団体やボランティアによる収骨活動10件について支援を行なった。(2) |
| 3 | 一元化された未収骨情報による遺骨収集の加速化 | | 順調 | ○糸満市において実施された戦没者未収骨壕等調査の結果に基づき、埋没壕等の危険を伴う現場での遺骨収集を厚生労働省に要請した。(3) |

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

| | 成果指標名 | 基準値 | 現状値 | H28目標値 | 改善幅 | 全国の現状 |
|---|-----------|--|------------------------|--------------|-----|-------|
| 1 | 沖縄戦没者収骨状況 | 毎年100柱程度 | 102柱 (速報値) (24年) | 遺骨収集 の加速化 | 2柱 | - |
| | 状況説明 | 未収骨情報の整理や、遺骨収集ボランティアの支援団体数の増加等遺骨収集の加速化に向けた取組を行ったが、平成24年度の収骨数は基準値と同程度の値となった。平成25年も引き続き遺骨収集の加速化に向け、取組の推進を図る。 | | | | |

様式2(施策)

(2)参考データ

| 参考データ名 | 沖縄県の現状 | | | 傾向 | 全国の現状 |
|--------|--------|---|---|----|-------|
| - | - | - | - | - | - |

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

・戦後68年が経過していることから、収骨・未収骨の状況を把握している者の数が少なく、また、調査協力者も高齢であるため、聞き取った収骨・未収骨情報があいまいであったり、不正確であったりする場合がある。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

・現在、これまで蓄積された収骨情報をもとに、収骨済箇所での整理を行っているが、既に収骨が終了したと思われた箇所からも新たな遺骨が発見される状況がある。
・ボランティア等による遺骨収集活動は例年以上に行われたが、埋没壕における遺骨収集など危険を伴う場所では、収骨に至らない場合が多くあった。

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

・遺骨収集を行っている団体やボランティア等から壕等収骨現場の詳しい状況など更に詳細な情報を収集する。
・遺骨収集情報センターで整理された未収骨情報のうち、埋没壕等の重機等を用いた大規模収容を伴う場所については、国が遺骨収集を行うこととなっているため、厚生労働省に対し、引き続き当該現場での遺骨収集の実施を要請していく。